

意見交換会概要

「女性視点の防災ブック」の掲載項目や掲載内容等のたたき台を作成するに当たり、各局の女性職員や女性消防団を集めて意見交換会を実施

- テーマ：被災地で感じた避難生活で困ること、必要な物や情報、あなたが薦める災害の備えや備蓄品、ブックの活用方法 など
- 実施期間：平成29年3月10日～21日（全5回）
- メンバー：都庁職員（被災地派遣経験者、看護師、保健師など）、消防団員、自主防災組織、災害支援ボランティア 合計32名（全て女性）

具体的な意見

女性視点の防災ブックについて

【掲載した方がいい内容】

- 女性特有の物の備えや被災地で役立つものを紹介
（髪留め、ウェットティッシュ、大判のバンダナ など）
- 子供と避難する時の注意点やあると便利なもの。子供の守り方など
- 職場で備えておいた方がよいもの（歩きやすい靴やズボンなど）
- 困ったときの相談窓口や相談の方法
- 東京は単身世帯が多いため、一人暮らし向けの防災対策や単独行動時の注意点
- 災害時における防犯対策
- 最低限やるべきことや絶対してはならないこと
- 備蓄食料の調理法
- 避難所におけるトラブルやストレスの対処方法
- 避難生活でもできるスキンケアやリラクゼーションの方法

【手に取ってもらう・活用してもらう工夫】

- 発災直後からのタイムラインを載せるとイメージしやすい
- 自分で書き込むことで完成する参加型の本にするとうい
- インデックスの工夫等により、一目で読みたいページに行けるように。
- 本の色は「東京防災」と差別化でき、興味を持てる色にしたらどうか。
- 「今やろう」のようなキャッチフレーズをつける。

「東京防災」について

- 各ページの情報量がコンパクトにまとまっていて良い。
- 簡単な文章やイラストが多用されており、読みやすい。
- 幅広い情報を載せるにはちょうど良いボリューム。
- 情報量が多く、何が一番重要なかが若干分かりづらく感じた。
- やるが多すぎて、着手するのにハードルが高い。
- 被災者の様子がイメージしやすい内容がもっとあった方が、切迫した状況が伝わり、日頃から備えようという意識が高まるのではないか。
- 帰宅支援や子供のケア、被災生活等について、もっと情報が欲しい。
- ご近所付き合いが無い人はどうしたらよいのか、教えてほしい。

消防団等について

- 身内が消防団に所属していたことをきっかけに参加した。
- 阪神淡路大震災を見て、自分にも出来ることはないかと思って参加した。
- 自分の活動が誰かの役に立っていると感じられる時にやりがいを感じる
- 普段では学べない防災の知識が増える。
- 担い手の高齢化が課題
- 消防団の敷居が高いという人には、自主防災組織に加入するのもオススメ